

3 会話文と文法

解答

- 問1(1) ウ (2) イ
問2(1) ア (2) イ
問3(1) イ (2) ウ
問4 visited many places while we were
問5(1) イ (2) ウ
問6(1) when she heard the news
(2) If it is sunny tomorrow, let's go

解説

- 問1(1) A:
B: はい、私は小さなかばんを探しています。
Bの発言より、Aは店員のせりふだとわかるので、ウ「いらっしゃいませ。」が適当。ほかの選択肢の意味は、ア「お願いがあるのですが。」、イ「あなたは何が好きですか。」、エ「どうぞご自由に(食べて/飲んで)ください。」。
(2) A: 来週末にパーティーを開きませんか。

B:

Aの発言より、イ「楽しそうですね。」が適当。ほかの選択肢の意味は、ア「はい、(私たちは)します。」、ウ「どういたしまして。」、エ「さあ、どうぞ。」。

問2(1) A:

B: それはお気の毒に。

Bの発言より、ア「私は頭が痛いです。」が適当。ほかの選択肢の意味は、イ「私は試合に勝ちました。」、ウ「私は新しいカメラを買いました。」、エ「私は日本食が好きです。」。

(2) A: もしもし。マユミです。ディックはいますか。

B: ディック?

A: ああ、すみません。

BはAの発言を受けて、「ディック?」と聞き返している。そのあとにAが謝っていることから、イ「番号をお間違えだと思えますが。」が適当。ほかの選択肢の意味は、ア「ちょっと待ってください。」、ウ「彼は私に電話をします。」、エ「私です。」。

問3(1) 「疲れていたけれど」なので、逆接の接続詞 but を入れる。

(2) 「寝る前に」なので、you go to bed の前に接続詞 before を入れる。

問4 「～する間」は接続詞 while で表す。接続詞の後ろは<主語+動詞>の形が続く。

問5(1) 「～ということ」は接続詞 that で表す。I know that ~. で「私は～ということを知っています。」という意味になる。

(2) 「～だけでも」は接続詞 Though で表す。後ろには<主語+動詞>の形が続く。

問6(1) She got excited 「彼女はわくわくしました」は与えられているので、「そのニュースを聞いたとき」の部分を組み立てる。接続詞 when の後ろに<主語+動詞~>の形を続けるので、when she heard the news とする。

(2) 語群にコンマがあり、文末に fishing が与えられているので、「もし明日、晴れたら」

という if 節を前半に置く。If it is sunny tomorrow, として後ろに let's go (fishing) を続ける。if が条件を表す場合は、未来のことでも現在形になる。

ポイント

接続詞の意味

- and** 「～と…、そして」
- but** 「しかし、だが」
- or** 「～か…、それとも」
- so** 「それで、だから」
- because** 「～なので、～だから」
- though** 「～だけれども」
- before** 「～する前に」
- after** 「～したあとに」
- while** 「～する間」
- when** 「～するとき」
- if** 「もし～ならば」
- that** 「～ということ」

4 会話文と文法

解答

- 問 1 (1) ウ (2) イ
 問 2 (1) the day when you came to
 (2) how you opened this box
 問 3 (1) ウ (2) イ
 問 4 (1) イ (2) エ
 問 5 the town where Mike was born

解説

- 問 1 (1) A: こんにちは。どうしましたか。
 B:
 A: それはお気の毒に。
 A が「どうしましたか。」とたずね、B が答えたあとに A が「それはお気の毒に。」と言っているのです。ウ「私は風邪を引いています。」が適当。ほかの選択肢の意味は、ア

「私は元気です。」、イ「どういたしまして。」、エ「問題ありません。」。

(2) A: 病院にはどのようにして行けばよいですか。

B: 右手に見えます。

A: わかりました。どうもありがとうございます。

A が病院への行き方をたずねたあと、B が空欄のあとで「右手に見えます。」と言っていることから、イ「この通りに沿ってまっすぐ行ってください。」が適当。ほかの選択肢の意味は、ア「ごめんなさい、私はこの辺りは詳しくありません。」、ウ「私は病院を知りません。」、エ「どういたしまして。」。

問 2 (1) 「日本に来た日」は、先行詞が the day で関係副詞 when を使って表すので、the day when you came to (Japan) とする。

(2) 「どのようにして」は関係副詞 how を使って表す。how の後ろはく主語+動詞～>の形にする。

ポイント

関係副詞

先行詞	関係副詞
time, day など時を表す語	when
place, town など場所を表す語	where
reason	why
way	how

※the way how ～という表現はなく、the way か how のどちらか一方のみを使う。

問 3 (1) 「このようにして」なので、関係副詞 how を使って表す。

(2) 先行詞が the reason なので、「アメリカへ行った理由」は関係副詞 why を使って表す。

問 4 (1) 関係代名詞が前置詞の目的語になっている文。with の後ろには which が入る。

(2) 「見たもの」は後ろに they saw が続いているので、関係代名詞 what を使って表すことができる。

問5 「マイクが生まれた町」は the townを先行詞にして, the town where Mike was bornで表すことができる。